

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すと以下の順でモードが切り替わります。
 デイカウンターモード、アラームモード、メモモードのまま2～3分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード

グラフ表示はいずれも現在時刻の秒に連動して点灯/消灯を繰り返します

アニメ表示が動きます

アニメ表示 曜日
 グラフ表示1
 グラフ表示2
 月 日
 10:58:50
 午後マーク(午前はA点灯) 時・分・秒

12/24時間制表示切替について
 時刻モードで、◎ ボタンを押すごとに、12時間制表示(午前“A”/午後“P”)と24時間制表示とが切り替わります。
 12時間制と24時間制とで表示されるアニメは異なります。

メロディ報知機能
 時刻モードで、◎ ボタンを押すと、あらかじめ内蔵されているプリセット曲(5曲)の中からランダムに1曲報音します。
 報音中はダンスアニメが表示されます。このとき、◎ ボタンを押すと、ダンスアニメと曲名の表示が切り替わります。
 ◎ ボタン以外のボタンを押すと音が止まります。

曜日の見方
 SUN:日 MON:月 TUE:火 WED:水
 THU:木 FRI:金 SAT:土

デイカウンターモード

アラームモード

メモモード

ストップウォッチモード

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

ボタンを押して発光させる ~手動発光~

時刻モード、デイカウンターモード、ストップウォッチモード、メモモードのとき、

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すと約3秒間文字板が発光します。

時刻モード(12時間制表示)のときは、ライト点灯に合わせてアニメが動き出します。アニメ表示はボタンを押すタイミングで内容が変わります(6パターン)。オートライトOFFのときも◎ ボタンを押すと発光します。
 セット中(表示点滅)は◎ ボタンを押してもライト点灯を行いません。

時計を傾けて発光させる ~オートライト機能~

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で、時刻やストップウォッチの計測値などを見るときに大変便利です。
 オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾げるだけで文字板が約3秒間発光します。

準備 時刻モードのとき ◎ ボタンを約2秒間押し続けて、オートライトON(AUTO点灯)にします。

オートライトONマーク

<オートライト作動します> <オートライト作動しません>

オートライトONのとき、◎ ボタンを約2秒間押し続けるとオートライトOFF(AUTO不点灯)に戻ります。オートライトON/OFF設定は、時刻モードのときのみ行なえます。

文字板を発光させる

- 時計を腕にはめ、水平にします
- 水平状態から、表示が見えるように約40°傾けます

オートライト機能を使用するときは、時計を「**手首の外側**」にくるようにつけてください。文字板の左右(3時-9時方向)の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。

EL発光についてのご注意

直射日光下では発光が見えにくくなります。発光中に◎ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

オートライトご使用時の注意

オートライトが作動するのは、「AUTO」を点灯させてから約3時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に「AUTO」が消え、オートライトOFFになります。
 引き続きオートライトを作動させたいときは、再度◎ボタンを約2秒間押しして「AUTO」を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。(24ページ「製品仕様」参照)

時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。これは正常な現象ではありません。

文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約3秒間のみとなります。

時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。

時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

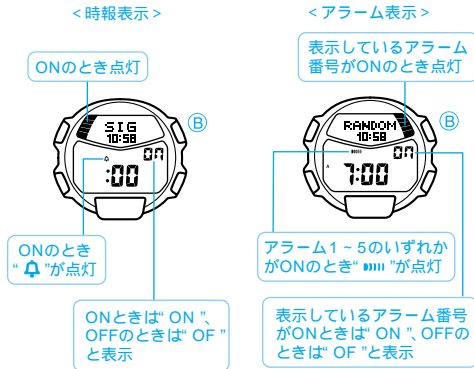
アラーム・時報のON / OFF設定

準備：アラームモードのとき、**ⓓ** ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報（SIG）表示を選びます。

ⓓ ボタンを押します

⇒ **ⓓ** ボタンを押すごとに、アラーム・時報のON / OFFが切り替わります。（下図参照）

ONにするときはマークを点灯させ、OFFにするときはマークを消灯させます。



アラーム音を確かめるには

アラームモードのとき、**ⓔ** ボタンを押すと、選ばれているアラーム音が鳴ります。

報音中にいずれかのボタンを押すと音が止まります。時報表示のとき **ⓔ** ボタンを押すと時報音が鳴ります。

鳴っているアラーム音を止めるには

ⓔ ボタン以外のボタンを押すと音が止まります。

アラーム報音中はダンスアニメが表示されます。このとき、**ⓔ** ボタンを押すと、ダンスアニメと曲名の表示が切り替わります。

ストップウォッチの使い方

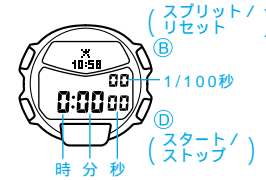
ⓐ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、**ⓓ** ボタンを押します

⇒ **ⓓ** ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。計測中はダンスアニメが表示され、計測値に運動してグラフ表示が点灯/消灯を繰り返します。



計測中に **ⓔ** ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。（“SPLIT”表示）
計測終了後 **ⓔ** ボタンを押すと、計測値が0に戻ります。（リセット）

通常計測



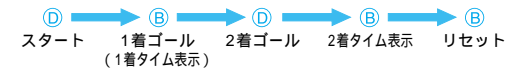
<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに **ⓓ** ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム（途中経過時間）の計測



1・2着同時計測



メモ機能の使い方

ⓐ ボタンを押して、メモモードにします。

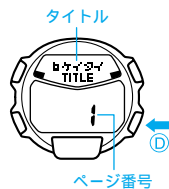
メモモードでは、1件につきタイトル(8文字)とメモデータ(16文字)を5件メモリーできます。メモモードに切り替えると、モード名を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

データを見る

(1) 見たいページ(タイトル)を探す

メモモードのとき、**ⓓ** ボタンを押します

⇒ **ⓓ** ボタンを押すごとにページが切り替わります。

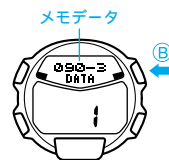


ページを切り替えると、モード名を約1秒間表示します。タイトルが6文字以上のときは、右から左に流れて表示されます。（タイトルの最後に“◀”マークが付き）
タイトル部に文字を入力していないときは、“- - - - -”と表示されます。

(2) メモデータを見る

ⓔ ボタンを押します

⇒ メモデータを表示します。



メモデータが6文字以上のときは、右から左に流れて表示されます。（メモデータの最後に“◀”マークが付き）
メモデータ部に文字を入力していないときは、“- - - - -”と表示されます。
ⓔ ボタンを押すとタイトル表示に戻ります。

データを入力する

(1) 空きページを選ぶ

メモモードのとき、**ⓓ** ボタンを押して、空きページを表示させます

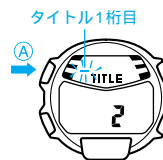
データがすでに5件メモリーされているときは不要なデータを消去しておいてください。（「データを消去する」参照）



(2) セット状態にする

ⓐ ボタンを約1秒間押します

⇒ タイトルの1桁目が点滅します。

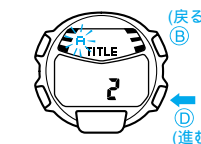


(3) 点滅箇所へのセット

ⓓ または **ⓔ** ボタンを押します

⇒ **ⓓ** ボタンを押すごとに点滅箇所の文字(数字)が進み、**ⓔ** ボタンを押すごとに戻ります。

ⓓ・**ⓔ** ボタンとも、押し続けると早送りします。

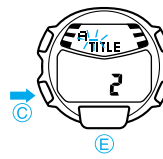


(4) セット箇所を選ぶ

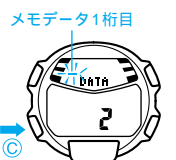
ⓐ ボタンを押します

⇒ **ⓐ** ボタンを押すごとに点滅箇所が「タイトル1桁目～8桁目 メモデータ1桁目～16桁目 タイトル1桁目...」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

ⓔ ボタンを押すと逆方向に移動します。



タイトルの入力が終わって終わりましたら、**ⓐ** ボタンを押して点滅箇所をメモデータ部に移動させます。（右図）



(3)～(4)の操作を繰り返して、タイトル、メモデータを入力していきます。

タイトルは最大8文字、メモデータは最大16文字まで入力できます。（入力できる文字については11ページ参照）

(5) セットを終わる

ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。
点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

データを修正する

- (1) **ⓓ** ボタンを押して修正したいページを選びます。
メモデータを修正したいときは、**ⓑ** ボタンを押してメモデータを表示させてください。
- (2) **Ⓐ** ボタンを約 1 秒間押します。
→ タイトルの 1 桁目が点滅します。
メモデータを表示させているときは、メモデータの 1 桁目が点滅します。
- (3) 修正したい部分まで **Ⓒ** または **Ⓔ** ボタンを押して点滅を送り、**ⓓ** または **ⓑ** ボタンを押して文字(数字)を修正します。
- (4) 修正後、**Ⓐ** ボタンを押します。

データを消去する

- (1) **ⓓ** ボタンを押して消去したいページを選びます。
- (2) **Ⓐ** ボタンを約 1 秒間押します。
→ タイトルの 1 桁目が点滅します。
- (3) **ⓓ** ボタンと **ⓑ** ボタンを同時に押します。
→ “CLEAR” 表示後、データが 1 件消去されます。
このとき引き続き他のデータを入力することができます。
- (4) 消去が終わりましたら、**Ⓐ** ボタンを押します。



(3) 点滅箇所のセット

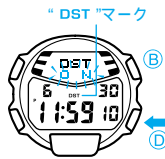
ⓓ または **ⓑ** ボタンを押します

→ **ⓓ** または **ⓑ** ボタンで、点滅箇所をセットします。

「DST ON / OFF」セットのときは...

→ DST*のONとOFFが切り替わります。

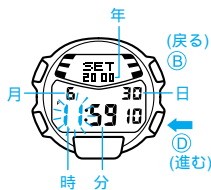
DSTをONにすると、通常の時刻より1時間早まります。(“DST”マーク点灯)
*DSTはサマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。



「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは...

→ **ⓓ** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。

ⓓ・**ⓑ** ボタンとも、押し続けると早送ります。「時」の午前“A”/午後“P”、または24時間制にご注意ください。



「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

「操作音切替」のときは...

→ モード切り替えのときに鳴る操作音を選ぶことができます。

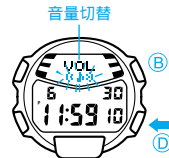
“ M ” = メロディ
“ ” = 電子音
“ - ” = 操作音なし



「音量切替」のときは...

→ アラーム報音やメロディ報音などの音量を選ぶことができます。

“ (()) ” = 大
“ () ” = 小



時刻・カレンダーの合わせ方

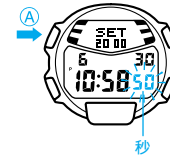
以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。なお、月に1度くらい「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

「秒」合わせ...30秒以内の遅れ/進みの修正

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、**Ⓐ** ボタンを約 1 秒間押します



→ 「秒」が点滅します。

(2) 時報に合わせて **ⓓ** または **ⓑ** ボタンを押します

→ 「00秒」からスタートします。秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス117番」が便利です)



(3) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

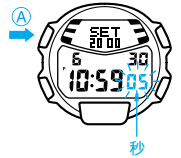
→ 点滅が止まり、セット完了です。点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

「時刻・カレンダー」合わせ

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、**Ⓐ** ボタンを約 1 秒間押します

→ 「秒」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

→ **Ⓒ** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。
Ⓔ ボタンを押すと逆方向に移動します。



「液晶コントラスト調整」のときは...

→ 液晶表示の濃淡が7段階で調整できます。

点滅箇所の数字は1つずつ進み(戻り)ます。
(淡)1 ...4... 7(濃)



(2)～(3)の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

(4) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。